

保護者ならびに生徒各位

令和7年7月 日

進学塾 エクセル

中学3年生の夏期講習について

中学3年生にとっては本当にこの夏で全てが決まるといっても過言ではない特別の夏休みがやってきました。

この夏の過ごし方を誤ってしまうと、取り返しのつかない後悔をするのが生徒本人なので、時は元に戻すことができません。

私たちも長年学習塾という立場上、いろいろな生徒 色々なケースを見て来ましたが、常にこれで完璧だという結果は永遠にでないでしょう。

しかし今までの経験の中からこれが生徒たちにとって、ベターだろうという経験則に裏付けされた今考えられる最善の勉強方法 スケジュール等を一生懸命に頑張っている生徒たちに提供したいと思います。

中学3年生には入試に向けて、少なくとも40～45時間程度の夏期特別講習が必要と思われれます。

夏期特別講習の意義

入試では内申点と実力点の両方が要求されます。内申点がよくても実力がなければ、当日のテストで得点が得られません。それもまた合否を分ける重要な要素なのです。そこで当塾では 英語 数学 理科 国語 社会の5科目の1年から3年1学期までの総復習に最低、40～50時間が必要と考えます。それは実力アップのみならず、二学期以降の内申点アップにも繋がるものだからなのです。何故ならば中学3年生の二学期以降の定期考査においては習った範囲のみならず今までの復習問題を織り混ぜた実力的要素が多分に入ってくるからなのです。例年の夏期講習であれば、週5日80時間など、かなりハードなスケジュールを組んできましたが、生徒の個性、能力等を鑑み今年度の夏期講習は通常の授業形態に週1日増やし、週3日45時間とし、生徒に過大な負担をかけず余裕のある時間、日時により、家庭学習で十分復習できる時間を確保することにより、学習の消化不良になることを防ぎ、学習効果を十分定着させるということを主眼に置いて立てたスケジュールです。また このスケジュールであれば学校の宿題なども余裕をもってできるはずですが、各自それぞれ教科によって弱点補強 得意教科の更なる実力強化などテーマは各々違うはずですが、この講習の中で最大限の効果を期待すべく当塾と致しましても、万全の体制でこの講習に望む所存です。

何卒当塾の夏期講習のスケジュールの意図をご理解いただき、人生において一度だけの、中学3年生の夏休みをみなさん頑張りぬきましょう。

小学部、中学1,2年生の夏期講習について

ゆとり教育からの脱却という名目のもと、教科書の内容も深く、勉強する範囲についても以前からみるとかなり増えているように思えます。

夏休みの勉強については、英語 数学（小学部は算数 国語）を中心に一学期にやり残したこと、又は苦手な教科の復習などを中心に頑張してほしいと思います。

中学3年生以外の学年においては通常授業の日程で内容を夏期講習的にやります。

曜日 時間帯などは普段とかわりありません。

しかし、最近とみに思うのは国語力不足の生徒が増えたということです。

皆さんは点数に気を奪われがちですが、教育の現場からみると、国語力不足による他の教科への影響なのです。国語力というのは学校の学習はもちろんのことではありますが、国語の強い生徒さんというのはだいたい、学校の勉強で国語力が強くなったというよりも、やはり活字を読む 書く まとめるという 読書量の差によるものだと思います。これは長年教育の現場にいるものとしての、経験と自らの経験の両方から判断していることです。

ではどうしたらいいのか？ やはり、最初は少しずつでもいいですから、出来るだけ本を読む、新聞でもいいです。活字であるならばなんでもいいです。日記をつけるというのもいいことでしょう。みなさんはなかなか時間がない 忙しいなどなど、色々な理由をつけて面倒くさいことから逃げようとしてますが、このままではいつまでたっても、現在 国語の強い生徒さんとの差は埋まらないでしょう。だからこそ、最初は少しずつでもいいですから、そういう習慣を付けてほしいと思います。夏休みこそ、そういうことができるまとまった時間の取れる時期です。

暑い夏ではありますが、皆さん頑張ってください